

韓国での日本の自治体PR ～ハナツアー旅行博覧会への参加～

ソウル事務所

はじめに

2012年5月18日(金)～5月20日(日)にソウルの郊外、京畿道高陽市にあるKINTEX 展示場で、韓国最大手旅行会社の(株)ハナツアー主催による旅行博覧会(HANA TOUR International Travel Show 2012)が開催されました。

2007年に始まり、今年で第6回目を迎えるこの旅行博覧会では、韓国、日本の他には東南アジア、ヨーロッパ等、世界各国のブースが設置されました。(株)ハナツアーの発表では、3日間で7万人以上の入場者があり、過去最大規模で行われたとのことでした。(昨年の入場者は4万5千人。)

日本館でのPR

日本館では、自治体、旅行会社、ホテル関係等の合計56のブースが出展され、なまはげや、石見神楽等の伝統芸能の披露、観光パンフレット等の配布、抽選やじゃんけん等でのノベルティの配布、長崎ちゃんぽんの試食等、それぞれの形で日本各地のPRを行いました。

一般来場者が大半を占めていましたが、旅行代理店関係者も来場しており、自治体ブース等で名刺交換する場面も見受けられました。また、日本館内に、(株)ハナツアーの旅行予約ブースが設置され、日本への旅行予約をする人の姿も見られました。

クリアソウルには、静岡県、鳥取県、愛媛県から活動支援依頼があり、ブース運営補助を行いました。今回は、愛媛県ブースの様子についてご紹介します。



《日本館入口》



《日本館予約ブース》

愛媛県ブースでのPR

今回、この旅行博覧会に初めて参加した愛媛県は、愛媛県職員と道後温泉旅館協同組合等の方々と共同でブース運営を行いました。来場者には、まず、愛媛県はどこにあるか、愛媛県の観光地はどのようなところがあるのか、愛媛へ行くにはどのような方法があるのかという基本的な事柄を中心に説明し、パンフレットの配布を行いました。

愛媛県に興味があり、行ってみたいという方には、宿泊場所として道後温泉の旅館の説明を行う等、具体的に愛媛県旅行へのイメージを持っていただけるようなPRを心がけました。隣のブースが香川県だったということもあり、四国にある愛媛県・香川県の覚えていただけるように、協力しながらPRを行いました。

さらに、四国へのツアー商品を販売している韓国旅行会社協力のもと、アジアナ航空の定期便を利用した愛媛県と香川県のモデルツアーが掲載されているパンフレットの配布も行いました。



《愛媛県ブースの様子》



《香川県ブースの抽選会の様子》

おわりに

今回の活動支援を通して、日本から最も近く、日本語学習者が世界で最も多い国である韓国でも日本の地方都市の知名度は低く、あまり知られてないことがあらためてわかりました。知名度が低い地方都市では、パンフレットを配っての観光地説明だけでは効果が薄いので、近隣の大都市からどのような交通手段で訪問できるか、近隣の地方都市で有名な観光地はどんなところがあるのか等の情報も伝え、日本旅行の際の複数の訪問先の一つとして考えてもらえるようにすることが重要なポイントであるように思いました。

地方都市の場合、東京、大阪、北海道等と比べて有名観光地が少ないため、一都市完結の旅行はなかなか難しいものです。地方都市同士が連携しての広域的なPRを行い、韓国人観光客の興味を引くことが、地方都市への誘客のための近道になるのではないかと感じました。

(宮下所長補佐 愛媛県派遣)